

平成29年度 学校評価 集計結果とまとめ (本校)



回答率	協議員	100%	91%
	保護者	62%	
	教職員	100%	
	HT	100%	

協議員＝学校運営連絡協議会委員

HT＝学校介護職員

学校評価に御協力くださり、誠にありがとうございました。
評価していただいた内容をまとめましたので、御覧ください。
多くの設問に対して丁寧に回答していただき、また貴重な
御意見を多数いただきました。
学校評価の結果について真摯に受け止め、さらなる教育の
充実に向けて、教職員一同、努力を重ねてまいります。

東京都立 光明学園

Q3 全校環境整備を行い、校内の教室・廊下等の整理・整頓と美化ができましたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	72%	12%	16%	86%	13%	1%	86%	8%	6%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・衛生面での配慮がもう少しあってもよい。 ・教室はごちゃごちゃして認識しにくい。また狭く使いづらいのがわかります。 ・きちんと清掃されているのか疑問に思えます。椅子が動いていないこともあり、清掃したことを明確にしてほしいくらいです。 ・整理、美化を心がけて下さっていると感じます。 ・古いわりにはまとまりよくしているように見えます ・全体的に目に見える物が多くて、またほこりをかぶっているように見える物が多い。 ・古い物が多いと思います。窓に網戸が欲しいです。 ・今年でかなりきれいに、すっきりしたと思います。 							<ul style="list-style-type: none"> ・校内環境整備の成果が不十分な場所につきましては、今後さらに入念に確認し、清掃や整備を進めます。 					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、常日頃からの校内の整理・整頓と美化の意識を教職に促すとともに、来年度も夏季休業中に全校一斉整理デーを実施し、一層の校内美化を図ります。 										

Q4 教室表示の色分け、職員室の環境改善等、学校環境や職場環境の改善は進められましたか。

【保護者】 教室表示の色分け等、学校環境改善は進められていると思いますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	64%	12%	24%	81%	15%	4%	82%	9%	9%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・大人でも迷うほど校内が同じに見えます。低学年は特に色分け等で自分の教室がわかるよう見通しを持たせたい。 ・そのようなことになっていることを知りませんでした。説明はあったのでしょうか？ ・表示の色分けに気が付いていませんでした。 ・分かりやすくなったところが見られる。 ・分かりやす工夫がされていると思います。 ・区分けされていることを知りませんでした。 ・教室表示の色分けとガイドの色一致は定着するまで時間が必要かと思いますが、良い取組だと思います。 ・色分けがもっとはっきり分かるようにしてほしい。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒、保護者の皆様、外来者全員が分かりやすい校内案内表示の精選及び充実を目指すとともに、その周知に努めます。また、学校環境・職場環境の改善及びより一層の充実に向けて検討いたします。 										

Q5 学校のホームページや掲示板、学校通信等を活用した、保護者向け校内活動等の情報発信や地域向け情報発信は行えましたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	74%	8%	18%	87%	6%	6%	87%	5%	8%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・ツイッターをしていることも知りませんでした。 ・お便りとして受け取る学校通信等の内容が非常に詳細になった。 ・今回見てみたら色々と変化があった。発信されていることを、もっと継続的・定期的に宣伝してもいいかもしれない。 ・HPは、以前の雰囲気とガラッと変わり、とても整理されて見やすく、色使いもよくなったと思います。 ・すみません。あまり見ていません。が、感染についてなど、マチコミで届くのは助かります。 							<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊学習の際、ツイッターを活用し、児童・生徒の近況をお知らせしております。その使用について、御存知ない方もいらっしゃいましたので、宿泊行事実施前にお知らせするとともに、その掲載内容の充実に努めます。 					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、HP・リーフレット・掲示板他の広報活動による情報発信の継続・充実を目指すとともに、各媒体でのお知らせにつまきしては、保護者の皆様へ事前にお知らせを徹底いたします。 										

Q6 校舎改築委員会からの校舎改築予定の周知や、新校舎建築に伴う物品調達に向けた準備が進められていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	86%	0%	14%				75%	16%	9%	80%	8%	12%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議等で視覚的にわかりやすく説明している。 ・物品調達に教職員の意見を取り入れようとしている点 ・校舎改築委員会、保護者説明会資料配布等対応・周知を図っている。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・西棟校舎建築中の業者等との的確な対応を実施するとともに、新校舎への円滑な移行を担当する校内組織の整備に努めます。また、校内における電子起案システムの利用促進のため、取扱方法を周知します。 										

Q7 指導に専念できる、業務システムの効率化・合理化が図られましたか。

評価	協議委員			保護者			教職員 (HT除く)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	86%	0%	14%				67%	20%	13%	77%	10%	13%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりも個人作業日が増えたような印象があり、教材研究する時間がある。 ・曜日に加えて、勤務時間内に終了しようと職員が努力している点。 ・会議のない日に授業準備ができるため統一されることは有難い。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・教員がより指導に専念できる業務システムの効率化・合理化を図るため、学校での取組について精査いたします。 										

特別重点目標2「効率的・機能的な学校組織の確立による組織力向上」

Q8 個人端末等を活用した、効率的かつ的確な業務遂行と情報共有ができましたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	86%	0%	14%				82%	15%	3%	84%	8%	9%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・管理職予定が一度に見れて確認できるのが便利。教室予約がやりやすくなった。 ・必要な情報が確実に得られるようになった。 ・全職員が日々確認することが前提であるので、その点について徹底する。 ・教室予約表に慣れていない教員もまだいるが、その場で確認できるのは便利だと思う。 ・「便利なリンク」が非常によい。 ・掲示板等すごく大切大切だが対面して話すこともすごく大切。 ・お知らせが直前になってしまうことがあったため、早めの掲示を心掛ける。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、効率的かつ的確な業務遂行と情報共有を目指し、教職員が個人端末を活用しやすいシステムづくりを検討いたします。 										

Q9 体罰や暴言をなくすために、児童・生徒指導中の積極的に取り組みましたか。

【保護者】 教職員は、体罰や不適切な指導をなくすために、積極的に取り組んでいると思いますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	86%	0%	14%	71%	13%	16%	88%	3%	8%	82%	5%	13%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・一部の先生でトイレから怒った声が聞こえてくることあり、心配に思う。 ・体罰や不適切な指導は全く感じられません。 ・個別の事由において解決されていないものがある間は(全体としての積極的な取組があっても)改善が必要と言わざるを得ない。 ・いつも生徒によりそっていただいていると思います。 ・子供達が重度の子が多いためか、先生方の言動に問題があると聞きます。軽率な言葉で子供達の前で話さないでほしい。子供達は理解し、傷ついています。 							<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の人権尊重の立場に基づき、管理職が教職員の指導について確認の上、必要に応じて指導いたします。 					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、教職員を対象とした服務研修の年間3回以上の実施するとともに、学校の教育活動全体を通じて、校内の体罰根絶を大前提として、児童・生徒の人権を尊重した指導の推進をいたします。 										

Q10 クリーンデスクを含む個人情報保護等、人権尊重の推進は行われましたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	71%	14%	14%				85%	10%	5%	78%	12%	9%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・設定日があることで、それぞれが意識をもてるのではないかと思う。 ・個人情報の書類は、赤ファイルにすることで、分かりやすくなった。 ・普段から注意喚起が行われ、クリーンデスク日も事前に告知があり、確認を余裕をもってできた。 ・まだまだ、机上に書類がある。執務室の引越しと同時に保管場所を確保して格納するとともに、保存期間終了のものを廃棄する。 ・教職員によって、意識と実践の差が開いていると思う。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針		引き続き、個人情報保護のより一層の推進のため、書籍や書類等を整理する書架等を設置した上で、クリーンデスクの取組を教職員内で徹底し、人権尊重の推進に努めます。										

Q11 【S部門教員(保健室・常勤看護師、寄宿舎指導員含む)のみ回答】
教員と学校介護職員の協働体制の充実を図られましたか。

【S部門保護者】教員と学校介護職員とは、連携して日常の業務にあたっていると思いますか。

評価	協議委員			S部門保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	86%	0%	14%	68%	5%	26%	75%	14%	10%	77%	7%	17%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・いつも連携して努力されていると思いますが、教員の人数が少ないので、介護教員が教員の指示待ちで、時間がもったいないように思われます。 ・声かけをしながら連携されていると思います。 ・個人の特性をよく理解して下さっていると思います。 ・とてもコミュニケーションがとれていて誰が担当になっても安心です。 ・意識の高さは感じますが、連携できているか否かは個々によると思います。 ・連携はとても良い形でスムーズに行われていると感じます。 ・朝の時間の申し送りを実施していただいているので安心です。 ・子供の状況に完璧に対応するのは難しいと思うので、人員を増やして手厚くしていただけたらと思います。 ・HTががていねいに対応してくれている。 ・連携はとれていると思いますが、なあなあになっている、と思うことがたまにありました。 ・学年の先生方のチームワークがとても良いと思う。雰囲気が良いと子どもたちにも伝わると思う。 ・中学部が上がって、担任は女性の先生、HTさんが男性、という感じになっていますが、とてもしっかりと連携して子どものことを理解して、状況も把握してくださっていて、有難いです。 ・介護職員の仕事内容の定義が厳しく限定されているのかと思う程、何でも教員に尋ねたり、指示を受けたりしているように見える場面があった。 							<ul style="list-style-type: none"> ・教員と学校介護職員の連携がより密になるよう、各学部の授業づくり等の充実を図ります。 					
今後の方針		引き続き、学校介護職員と教員の協働体制の確立と人材活用に向けて、外部専門家による校内研修等の取組を実施しその情報発信に努めます。										

Q12 学校介護職員は、児童・生徒の状況を把握し、適切に対応できていますか。

【S部門保護者】学校介護職員は、児童・生徒の状況を把握し、適切に対応していると思いますか。

評価	協議委員			S部門保護者			S部門教職員 (HT含む)			全体		
	プラス 評価	マイナス 評価	未記入	プラス 評価	マイナス 評価	未記入	プラス 評価	マイナス 評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	86%	0%	14%	71%	4%	25%	72%	15%	13%	76%	6%	17%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・娘の好きな事、出来る事を考えて取り組んで下さり、安心してお任せできます。 ・教員である先生方と介護職員の方とを分けて考えておらず、どちらも「先生」という意識でおります。 ・いつも平常心で行って下さる感じが見られ、とてもよいと思う。 ・教員の指示待ちが少なくなって、率先して動いていただいているように感じます。 ・介助のポイント、授業中のサポートの仕方を見ていると、児童の情報共有がなされていると思う。 ・教員・介護職員のキャリアや資質にどうしても個人差がある。それを補うフォロー体制がスムーズにできる人員配置のきめ細やかさが必要。 ・介護職員の先生は、常に一生懸命に生徒の対応を行っています。本当にありがたく思っております。 ・もっと発言していいと思います。介護職員の先生たちからのアドバイスもあつたらよいなあと思います。 ・担任の先生は、児童のくせや姿勢の取り方を理解してくれている。 ・介護職員の方にも姿勢の取り方等を、理解してほしい。 ・自ら動き回れない子供達を側で見て援助して下さるHTの先生の専門性をより高め能力を認める制度作りが大切だと思う。 ・日々の様子を聞き、しっかり把握している。 ・細部への気づきに個人差がある。 ・昨年度から引き続き担当して下さっている介護職員さんは、ある程度把握できて対応していると思う。 ・前職での経験を生かし、ケアの方法等に提言を行い、それによってより安全でスムーズで快適な授業環境を作り出すことに貢献されている方もいる。 ・医ケアも含め、より積極的な関わりを期待したい。 							<ul style="list-style-type: none"> ・各授業の内容に応じて、児童・生徒の指導体制が適切に取れるよう、日頃からの教員と学校介護職員との連携を重ねていきます。 					
今後の方針		(Q11と同様です)										

Q13 教員や寄宿舎指導員、医師・看護師は、連携して日常の指導にあたっていますか。

評価	協議委員			B部門保護者			教職員 (HT除く)			全体		
	プラス 評価	マイナス 評価	未記入	プラス 評価	マイナス 評価	未記入	プラス 評価	マイナス 評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
▲	86%	14%	0%	43%	57%	0%	83%	17%	0%	70%	30%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・客観的な意見を頂けることもあり、有効と感じます。 ・各セクションで、少し考え方が違うことがある。連絡会や、関係者会議、その他日々の引継ぎで、連携を深めていけるとよい。 ・思春期の生徒の心理、および児童精神医学への学習がもっと必要だと考える。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、教員や寄宿舎指導員、医師・看護師が連携した児童・生徒の指導の充実に向け、学校・寄宿舎間の情報交換会の実施や、児童・生徒への指導・支援に関する校内研修等の取組を検討いたします。 										

Q14 外部専門家(OT、PT、ST等)を人材活用した授業者支援がなされましたか。

【S部門保護者】外部専門家のアドバイスは有効でしたか。

評価	協議委員			S部門保護者			S・B部門教員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	86%	0%	14%	47%	14%	39%	71%	13%	16%	68%	9%	23%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・耳鼻科の先生のご指導は解りやすく生活に入れやすかったです。 ・指伝話のアプリ、今年から始めました。子どもが意外にちゃんとできそうでびっくりしています。 ・有効です。もっともっとアドバイスを頂きたいです。 ・アドバイスがあったのか、そもそも我が子に関わったのかすら不明。来てくださっているときは、どんどん関わって、担任側からも気兼ねなく頼れるポジションでいてほしい。 ・今年初めてで、こちらから伝える事が多かったので、今後期待しています。 ・教員・HT共に専門家の意見を聞き、日々の学習・対応に取り入れていただけたと思います。 ・担当の先生を介して、こういうことをしましたや、アドバイスを聞くことができましたが(耳の専門家)、その他PT等の専門家は接する機会があったのかも不明。 ・様々な外部専門家に見てもらい、今までの医療的な関わりの中では発見できなかった能力の可能性が見られ、すばらしい。 							<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の学習状況に応じて、外部専門家のより学習効果の高まる支援を受けた際には、日々の連絡帳や面談等の機会を利用し、保護者の方へお伝えいたします。 					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、外部専門家や校外外の人材を有効に活用することにより、教職員の授業力向上を図り、児童・生徒に対する個に応じた指導が充実するように努めるとともに、「外部専門家便り」を作成し、情報発信に努めます。 										

Q15 臨床心理士等を活用した教員・保護者支援が図られましたか。

【B部門保護者】臨床心理士等のアドバイスは有効でしたか。

評価	協議委員			保護者			教職員 (HT除く)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○				71%	29%	0%	95%	3%	3%	83%	16%	1%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・精神状態の分析や具体的な対応についてアドバイスをもらうことができた。 ・生徒指導にあたり、生徒の心身の状況について相談し、具体的なアドバイスを頂き指導に活かされた。 ・生徒の内面を自分とは違う視点から見ることができ、参考になった。 ・さわやか相談はよい。生徒もよく自分のことを話している。教職員も相談しやすい。 ・生徒は相談できているが、保護者への周知や活用が必要 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、B部門の児童・生徒の健全育成に向け、臨床心理士と連携した児童・生徒支援や教職員への研修を行います。また、臨床心理士によるさわやか相談につきまして、その情報発信や報告の実施を検討いたします。 										

最重点目標1「授業力の向上」

Q16 授業者支援会議で得たノウハウの蓄積や、日々の評価による改善策の共有と活用ができましたか。

評価	協議委員			保護者			教員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	100%	0%	0%				66%	24%	10%	83%	12%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・短時間でポイントが明確に話し合われるので良かった。活用できた。 ・授業者支援会議は違った視点から見た工夫や改善点を伝えてくれるため、自分の授業で活用することができる。 ・一通りの教員が、すべて支援者になれたことはよかった。 ・他者の授業を参観することで、自身の課題を改めて見つめ直すことができる機会であったと思う。 ・支援会議後の改善点をまとめたり、反映した指導案があり、とてもよかった。 ・支援者会議のおかげで、複数の先生方からアドバイスをいただくことができて良かった。会議も短いので、支援者の負担も少なかった。 ・助言者も自身に還元できる内容であること。 ・年次以外の教員も授業支援してもらえる。 ・在宅訪問、病院訪問の教員ならではの、授業者支援会議ができれば良い。通学の教員とは、勤務の流れが違うので、同じ流れで研究していく難しさを感じる。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針							授業者支援会議で得た授業改善の方策を教員が共有及び活用し、児童・生徒一人一人に応じた指導の充実に図るとともに、全国公開研究会等の機会を通じて、そのノウハウを校外にも発信できる方策を検討いたします。					

Q17 夏季全校研修等研修の成果を、日々の指導に活用することができましたか。

評価	協議委員			保護者			教職員 (経営企画室除く)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				78%	14%	7%	89%	7%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・誉めることの大事さを学んだ。 ・基礎研修としては、必要だと思う。 ・飯野先生による指導は本当にためになりました。 ・HTも充実した研修を受けさせてもらい、勉強になった。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針							引き続き、教職員の児童・生徒理解を深めたり、指導力の向上を図ったりすることを目的とした教職員対象の研修会の実施いたします。					

Q18 特別講師を招聘した保護者学習会「言語・文字の獲得に繋がる『考える力』について」は、良い機会となりましたか。

評価	協議委員			保護者 (回答者)			教職員			全体		
	プラス 評価	マイナス 評価	未記入	プラス 評価	マイナス 評価	未記入	プラス 評価	マイナス 評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎				94%	6%					94%	6%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・もっと機会を増やし、周知につとめてほしいです。 ・出席できなかったが、出席された方から、とても評価が高かった。現場にも、その熱意と誠意を生かせればと強く思った。 ・残念ながら参加はできませんでしたが、お便りでどのような学習会だったか知る限り、気づきがあり有意義な機会だったのではないかと思います。 ・常時同室の付き添いを求められているため、せっかく興味深いテーマの学習会でも参加できない。校内であるので、一時的に離れる配慮や、せめてビデオ録画して付き添う授業中にタブレットで見られる等の機会を考えてほしい。 							<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の研修を実施する際には、いただいた御意見を参考にさせていただきます。 					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・当日出席が難しかった方の御意見も多数いただきました。今年度の皆様の御意見を参考にさせていただき、より良い研修の実施や、当日出席が難しい方への情報提供の仕方について、検討いたします。 										

Q19 日々の指導に関する説明を、授業参観ガイドや通知表、個別指導計画の作成を通し、保護者へしっかり伝えることができましたか。

【保護者】 授業参観ガイドや通知表、個別指導計画で、日々の指導について理解することができましたか。

評価	協議委員			保護者			教職員 (HT、 経営企画室除く)			全体		
	プラス 評価	マイナス 評価	未記入	プラス 評価	マイナス 評価	未記入	プラス 評価	マイナス 評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	80%	5%	14%	84%	9%	7%	88%	5%	7%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・少し先の将来を見る気持ちで高学年のものを拝見しました ・授業参観ガイドは、もう少し早く手元にいただくことはできませんか。ゆっくり見てから参加したいです。 ・参観ガイドや通知表などは、学校に足を向けられない祖父母には喜ばれ、楽しみにしている。 ・様々な工夫が新たに見られ、詳細でわかりやすい。 ・とてもわかりやすい上に、良い表情の写真を撮って下さり感謝しています。 ・参観ガイドは学習のねらいが分かりやすく、他学年/グループの取組もわかるので助かると思います。 ・お忙しい中、子供もことをよく教えて指導していただいていると思います。 ・子供の様子や変化を把握し、適切な課題を与えてくれる。 ・参観ガイドはわかりましたが、個別指導計画の内容が漠然としすぎていて、そのためにどう働きかけを行う等の記入を最初からしてほしい。 ・通知表はとてもよく表現してあると思いました。 ・通知表は一部の教科しか載っていないこと。 ・事前に授業参観ガイドが配布されるのでポイントがわかって良いと思う。通知表のワンウエイ方式は良いと思う。 							<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観ガイドは、数日前にお読みいただいた上で授業参観いただくことで、保護者の皆様の御理解が深まると考えております。いただいた御意見を参考にさせていただきます。 ・個別指導計画の内容につきましては、御理解いただきやすいよう、簡潔に内容をまとめております。御不明な点などございましたら、各担任、教科担当までお知らせください。 ・通知表は、学期の中でも特にそのお子様が光り輝いた教科を取り上げ、その姿をお伝えしたいと考えております。内容がより皆様に伝わるよう、努めてまいります。 					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、授業参観ガイドの作成と事前配布を行うとともに、学園生に伝わりやすい通知表の工夫の継続検討を行うことにより、教員として児童・生徒の指導に関する説明力の向上を図ります。 										

最重点目標2「各部門の専門性発揮・向上による特色ある教育の推進」

Q20 高等部学力調査問題作成システムの導入及び過去問題の次年度開示(中3への提供)の整備が進められていますか。

評価	協議委員			保護者			教員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	86%	0%	14%				54%	22%	24%	70%	11%	19%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の力を知ることができる ・特別支援教育の中でも、高等教育というものへの意識を大切にすることは良い事だと思う。 ・入試の在り方を考える機会、進路選択を考える上でいいテーマであり、外部の方の関心もある。 ・あまりかかわりが無いのでピンと来ない。 ・進捗状況が周知できていない部分がある。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、本校高等部学力調査問題の充実を図るとともに、中学3年生が入学相談を受検する上で過去問題を開示し、事前対策へと活用できるように、校内で取組を検討いたします。 										

Q21 都指定「オリンピック・パラリンピックアワード顕彰校」としての実践と普及・啓発や、「夢・未来プロジェクト実施校」に基づく体験教室及び交流の実施など、特色ある教育が進められましたか。

評価	協議委員			保護者			教職員 (HT除く)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	100%	0%	0%				79%	12%	10%	89%	6%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな取り組みが、児童・生徒たちのよい経験にはなっている。 ・生徒たちにとって将来を考えるよい機会になったと思う。 ・学校全体でオリパラ教育を意識していると感じる。 ・プロジェクト委員会が発足し連携できる体制が整った。光明の特色ある活動につながる。 ・S部門とB部門の生徒の実態も大きく異なり、小中高の発達段階の違いもある。実施すればそれぞれの行事に意義はあるものそれぞれ工夫して行う必要はある。 ・HPでの宣伝、校内表示など、もっとアピールしたり、教育課程に位置付け、実施し、盛り上げる。 ・B部門の児童・生徒にとっても刺激ある競技者・競技団体等の招待、体験ができるとよい。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「オリンピック・パラリンピックアワード顕彰校」として、オリンピック・パラリンピック教育の指導の充実や、体育的活動や文化的活動の活動の幅を広げられるよう、児童・生徒の実態に応じた取組を創意工夫いたします。 										

Q22 将来の進学等に備えて、教科学習に関して自ら学ぶ意欲ある学園生への補習機会の実施ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員 (HT除く)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	86%	0%	14%				67%	13%	20%	76%	7%	17%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 検定試験に向けての補習が充実している点 意欲のある生徒に対して取り組む事は良い事だと思う。 検定前の追い込みとしても行うことで、指導内容の充実が図られる。 検定を目指す目的や意義を受験する生徒にしっかり自覚させる必要がある。 						(今後の方針のとおりです)						
今後の方針						引き続き、漢字検定や英語検定等への挑戦に向けて、補習機会の検討を行います。						

Q23 企業との共同開発研究による音声メディア貸出システム「聴く読書支援」(マルチメディアDAISY図書)等の整備と活用ができましたか。

評価	協議委員			保護者			S部門教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
■	86%	0%	14%				48%	25%	34%	67%	12%	24%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> 生徒たちが関心をもって取り組める。 改築中でやむを得ないが、場所が狭い。環境が整ったら、よりよい環境の場所で、読み聞かせ会を続けてほしい。 デジジーを使うメリットなどの研修があるとよりたくさんの方が使えると思う。 個人的に勉強不足で活用できなかった。今後自己研修したい。 						(今後の方針のとおりです)						
今後の方針						校内における音声メディア貸出システムの整備を行うとともに、校内の児童・生徒及び教職員への活用の周知をし、読書支援の取組を継続いたします。						

Q24 タブレット型端末等のICT機器を活用した教育の充実ができましたか。

評価	協議委員			S部門保護者 (在宅訪問)			S部門教員 (在宅訪問)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	86%	0%	14%	80%	20%	0%	88%	13%	0%	84%	11%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)						回答・改善策						
<ul style="list-style-type: none"> タブレットで画を見たり、音楽を楽しめる。キーボード入力がなくなった。 早く取り入れてその分早く子供たちへ利用できるのはうれしく思います。 学校と家との間で、もっとICT機器を活用し、在宅訪問であっても、学校とつながっていく。 ICT機器は、生徒もすぐ興味があり、注目しやすかった。視覚支援の充実に効果的であった。 ベツ上でも授業ができる。 自己の使いこなしていく力量が課題であるので、努力する。 						(今後の方針のとおりです)						
今後の方針						分教室拠点や在宅訪問等の教育形態に応じて、タブレット型端末や遠隔ロボット等のICT機器を活用し、児童・生徒の教育活動の充実に向けた支援を継続いたします。						

最重点目標3「児童・生徒が安心して学校生活を送れる生活指導体制の構築」

Q25 各部門の障害特性に応じて、両部門の合同避難訓練や宿泊防災訓練(高等部2年)、寄宿舎における避難訓練の実施ができましたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
□	86%	0%	14%	50%	6%	44%	74%	10%	16%	70%	5%	25%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・実施されていると思いますが、具体的な内容はあまり伝わってきません。 ・セーフティ教室で部門や教育課程別に複数の取り組みを用意したのは、児童生徒が理解・参加できる部分が増えて良かった。 ・単なる「訓練」ではなく、児童・生徒がお互いの障害特性を認め合うことができる貴重な機会になっている点 ・宿泊防災訓練では、B部門生徒の積極性を見ることができた。 ・Bの教員が避難する際にS生徒の避難を手伝ってくれた。 ・S部門の子どもたちの避難について、勉強になった。いかに安全に子どもたちを待っていきべきか再度考えさせられた。 ・医療的ケアを必要とする生徒の避難(電源確保)であったり、実際に車いすでの移動が困難な場合を想定とした避難訓練の必要性はないのか考える。 							<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は各月、宿泊防災訓練は今年度高等部2年生が実施いたしました。内容につきましては、学校通信や全校保護者会等で周知し、皆様に広く知っていただけるように努めます。 					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・合同避難訓練や宿泊防災訓練のより一層の充実を図るとともに、その結果を基に両部門の児童・生徒が安全に学校生活を送ることができるよう、校内での情報共有に係る取組を検討いたします。また、宿泊防災訓練後には、学校通信特集号を作成し、その様子をお伝えできるようにいたします。 										

Q26 万一の事故を教訓とした再発防止策の徹底を行うことができましたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	86%	14%	0%	/	/	/	79%	11%	10%	82%	13%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・事故の起こった原因からその後の報告などが丁寧に行われている点 ・給食委託業者だけでなく、栄養士も事故報告書を作成し、反省材料にしている点が評価できる。 ・事故報告等、朝の打ち合わせで必ず確認することができた。 ・全体周知することで、同様のことが起きないように気を付けている。 ・生活指導部の提示している手続きと保健室の求める手続きとに違いがあったので、統一する必要がある。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も万一の事故を教訓とした再発防止策の徹底を継続し、児童・生徒や保護者の皆様が安心して学校生活を送ることができるよう、指導体制の充実に努めます。また、万一事故が起きてしまった場合は、事故再現研修を行い、児童・生徒の安全確保に基づいた教育活動の展開を目指します。 										

Q27 安全な施設設備の利用方法の開発(事故・怪我の防止)ができましたか。

【保護者】 校舎(施設)面の安全対策は十分だと思いますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	100%	0%	0%	51%	24%	24%	83%	10%	8%	78%	11%	11%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> 給食担当者の胃腸炎(?)時の対応についても報告書を見る限り、突発的な事象にも、一体となって迅速に取り組みれていたように見える。 誰でも侵入できる施設になっていないか不安です。 校舎が古いため安全対策は十分だとは言えない。 中庭のパーキングから赤堤通りに出る時に危ないことがあります。(自転車や通行人、車)。警備の方がいるといいです。 古いので、とても心配です。 廊下の角を曲がる際、気をつけてはいるが、接触しそうになったことがある。右側通行?左側通行? 玄関マットの固定(めくれなくなった)、校内整備により、廊下を安心して通れた。 施設の不具合があれば、教員からすぐに企画室へ連絡が行われている。 企画室では速やかに用務主事やセンターの施設担当へ修繕の依頼をするなど対応している。 連絡があれば、できるだけ早いうちに工夫を施し処理に努めた 給食室とワゴン室が離れているため、運搬時の作業動線が、児童・生徒の動線と重なってしまう点。栄養士が立ち合い、危険防止に努めている。 							<ul style="list-style-type: none"> 現在設置している防犯カメラを活用するとともに、不審者対策についても再度確認し、検討していきます。 赤堤通りの通行者や車に注意を促すことができるよう、1月に赤堤通りからの学校への入口にパトライトを設置しました。 両部門の児童・生徒が安全に学校生活を送ることができるよう、校内の歩行について校内で確認いたします。 					
今後の方針		引き続き、児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、教職員全員で定期的に校内の施設設備点検を継続するとともに、その安全な利用方法を情報共有及び実践いたします。										

Q28 スクールバス等の安全運行や、寄宿舎生の通学の安全、一人通学する学園生の通学指導などの通学支援ができましたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	86%	14%	0%				82%	5%	13%	84%	9%	7%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス部の教員をはじめとし、様々な教員が関わって対応できているように思う。 ・添乗員とも、バス内の様子等、情報共有ができた。 ・対象児童について、教員・寄宿舎・保健室と連携をもって対応することができた。 ・2名の生徒の一人通学指導に行き、支援することができました。 ・帰宅前の健康観察を保健室で行う児童生徒が増え、複数で観察が出来る。欠席明けに保健室へ状況報告をする人が少ない。 							<ul style="list-style-type: none"> ・欠席明けの児童・生徒の健康状況確認については、保健室から校内へ呼びかけ、健康に学校生活を過ごすことができるよう、努めてまいります。 					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、スクールバス等の安全運行や寄宿舎生の通学の安全、一人通学する学園生の通学指導の充実に努め、児童・生徒が安心して学校生活を送ることができる生活指導体制を確認してまいります。 										

最重点目標4「保健給食体制の構築」

Q29 教職員や保健室、校医、看護師が一つになり、保健・緊急対応はスムーズに進められましたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	86%	0%	14%	63%	7%	30%	82%	6%	12%	77%	4%	19%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な緊急時の対応について、どこまで現場判断、どこまでは保健室以上等、見直しを定期的に行い、本来の目的である安全の確保が連携できる一番よい方法を検討してほしい。数年前に聞いた、「呼吸停止でも心停止まではアンビューを使用しない」という方針は非常に驚いた。 ・日常生活での対応は努力していただいておりますが、緊急対応については、1年の頃からかわっていないと思います。 ・保健室、看護師の方には、日頃大変お世話になって本当に安心して学校へ通学できます。ありがとうございます。 ・保健室の皆様には医ケアのためいつも大変お世話になり、ありがとうございます。 ・保健室はもっと担任の意見や子ども本人の様子を尊重してほしい。自身の保身のための書類やデータだけで気になることは(子どもは)排除されている感がした。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、肢体不自由と病弱の両部門の児童・生徒が安全に学校生活を送ることができるように、教職員と保健室、学校医、看護師や寄宿舎指導員の連携がより密となる学校体制構築に向け、取組を検討いたします。 										

Q30 適切なアレルギー対応を行う為の教職員の資質向上、及び校内体制を整備することができましたか。

【保護者】 アレルギー疾患のある児童・生徒への学校給食における対応は、安心・安全な環境の下、適切に行われていると思いますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	86%	0%	14%	50%	4%	46%	84%	5%	13%	73%	3%	24%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・今は学校の工事中でもあるので仕方ないと思いますが、新校舎給食室完成後のアレルギー対応きざみ食、ペースト食に期待しています。 ・毎年、アレルギーに配慮した対応を考えてくださっている。栄養士の先生が献立作りを工夫してくださっている。 ・昨年度までは代替食の提供がなされていたが、今年度からスペースの問題もあり、代替食の提供がなくなり、その分は持参することになった。保護者の負担、先生の負担も増えている。月に2~3回だがレトルト食を持たせて、給食の時に食べさせてもらっていて、複雑な気持ちです。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針			<ul style="list-style-type: none"> ・在籍する児童・生徒の安全確保に向け、適切なアレルギー対応を行うための教職員の資質向上及び校内体制の充実を図ることができるよう、取組やその情報発信について検討いたします。 									

Q31 都の新要綱を踏まえた、安心・安全な医ケア制度の啓発と医療的ケア体制の構築はなされましたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	86%	0%	14%				82%	6%	14%	84%	3%	14%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・一人の生徒について、複数の教職員が医ケアの研修を受けることができた。 ・医ケアの部会では意見の統一ができていた。連絡協議会では今まで参加できなかった医師が参加することができ充実した会となった。 ・構築としては今後も保護者との連携が不可欠だと思います。 ・医ケア対象児を担当する教員に対して、要領のこと等資料と研修を行い、この学校としてのシステムを体系的にわかりたいと思う ・日々担当する教員以外の職員は、認定時1回だけの研修では忘れてしまう。学期に1回でも思い出す研修をする。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針			<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、医療的ケアの必要な児童・生徒や保護者の皆様が安心して学校生活を送ることができる取組を検討するとともに、他校支援の充実に向け、より一層の情報共有に努めます。 									

Q32 厨房環境に応じた安全で美味しい給食の提供と、楽しい給食タイムの工夫を行うことができましたか。

【保護者】 厨房環境に応じた安全で美味しい給食の提供と、楽しい給食タイムの工夫を行うことができていると思いますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	86%	0%	14%	59%	9%	32%	80%	6%	14%	75%	5%	20%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・おいしく食べています。 ・デザートの日を増やしてほしいです。 ・季節やイベントメニューが楽しい。 ・オリパラ給食のアイデアは、楽しく身近に参加国を感じられておもしろいと思った。 ・いつもおいしい給食をありがとうございます。 ・食べることができないでいる生徒(注入)に、今日の給食と刻み給食の発表をして、鼻にお皿を近づけにおいをかがせるのは、食育かもしれませんが、食べたいのに食べれなくてかわいそうです。 ・形態と改善又は2点盛り等、早急に対応を。1日1日がとても大切なのに学校の都合で、その子の形態に合っていない給食を食べさせられている。それに対して、詭弁ばかりで真摯に向き合う姿勢が見受けられない。 ・ペースト食の飲み込み易さが食材によって大きく異なります。嚥下障害のある生徒に対し今後トロミ剤やゼラチンのバリエーションを広げていただけたら幸いです。 ・安全面を重視しているため、食形態のバリエーションが少なく残念です。きざみ対応(みじん切)を希望しています。 ・毎日とは言わないので、1週間に一度位はちゃんとした食事(カレーならカレールーと肉・野菜を全て分けるのではなく、普通にみんなが食べているカレーをミキサーしたもの)を食べる機会を作してほしい。 							<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の人権を尊重しながら、学級・クラスの児童・生徒と給食時間の交流の仕方について確認いたします。 ・現在の厨房環境での制限がありますが、それを最大限に活かしながら、児童・生徒一人一人の摂食状況に応じた指導の充実を図っていきます。 					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、厨房環境に応じた安全で美味しい給食提供と楽しい給食タイムの実現に向け、栄養士や教職員間で連携し、給食に係る取組の改善・充実に努めます。 										

Q33 摂食評価や研修を通し、摂食機能の向上を図ることができましたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	86%	0%	14%				80%	5%	15%	83%	2%	15%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・摂食研修を受けて向上を図ることができた。 ・歯科医師等、専門家の意見をうかがえる貴重な機会であること。 ・基本的な摂食の段階等を学ぶことができた。 ・年度のはじめ、実際に食べ物(豆腐、キュウリなど)を使った内容や、介助方法の簡単な説明などの研修があり良かった。 ・個に応じた研修ができた。 ・参加できなかった場合も考えて複数回実施してほしい。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、校内の教職員や外部専門家等との連携に基づき、年間10回以上の摂食相談を実施し、年間児童・生徒一人一人の摂食機能に応じた摂食指導を推進します。 										

Q34 各種保健行事は、効率的に進めることができましたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎							80%	4%	16%	80%	4%	16%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> 概ねあらかじめ組んだ時程で行うことができた。 業務システム等により、周知が出来ている。 宿泊前健診について、訪問生は該当学年以外の時にも実施してくだり、助かった。 身体測定では、学部内で声を掛け合って、できるだけ待ち時間の少ないように受けることができた。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針							引き続き、教職員と保健室、校医が連携し、児童・生徒が安心して保健行事に取り組むことができるよう努めます。					

最重点目標5「地域支援の充実」

Q35 学校公開や幼児とその保護者を対象とした情報提供等の地域のニーズを踏まえた支援の展開ができましたか。

評価	協議委員			保護者			S部門・B部門教員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				75%	5%	20%	88%	2%	10%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> 学校公開はとても資料も充実していて良かった。 参加も多く、好評だったと思う。 ヘルパーさんなどにも、学校での生徒の様子を見てもらう機会が良いと思う。 放課後デイサービスの方などからの授業見学の感想や日頃の話などができて良かった 回数も適当であり、適切な支援の展開ができていた。 いろいろな機会を等して地域に学校を開いていくのはよいと思う。 光明キッズは、就学前の児童の様子を知る貴重な機会だと思う。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針							本校への入学希望者や関係機関の職員等、地域のニーズを的確に把握し、それぞれの方に対する支援の充実を図ります。また、学校公開では、各回において授業参観ガイドを作成し、学校の教育活動の発信を行います。					

Q36 病弱教育部門に関する見学・教育相談・転学相談に関する適切な対応ができましたか。

評価	協議委員			保護者			B部門教員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	71%	14%	14%				100%	0%	0%	86%	7%	7%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・学校と寄宿舎が連携し、お互いの分担を綿密に行って説明することにより、参加者の理解がより深まると思う。 ・説明会への参加人数が予想より多く、椅子の準備などでバタバタしたので、事前に対応できるようにしておく。 ・病弱教育部門の教員の誰もが、きちんと説明できるようになっておく必要がある。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針							<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、B部門高等部入学希望者へのオープンスクールや、転編入希望者への学校説明会についての実施方法や対応のより一層の充実を図るとともに、学校ホームページを通じて病弱教育部門の的確な情報発信に努めます。 					

Q37 大会等への支援などを含むPTA活動への連携と協力ができましたか。

【保護者】 大会等への支援などを含むPTA活動への連携と協力ができていると思いますか。

評価	協議委員			保護者			教職員 (HT、 経営企画室除く)			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	86%	0%	14%	66%	5%	30%	72%	14%	15%	74%	6%	20%
回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)							回答・改善策					
<ul style="list-style-type: none"> ・準備段階から途中のいろいろな相談まで、たくさん助けていただき、ありがとうございます。 ・子供の送迎以外は電車で1時間かけて通っている。往復2時間。交通費もかかる。多い日は何度も通った。医ケアも増え、仕事を持つ人も増えている。学年から5人も役員を出している活動の在り方が問題だと思う。もう少し負担が軽くなる仕組み作りを進める必要があると思う。 ・評価項目の内容がよくわかりません。PTA役員さんの(特に本部)仕事量が多すぎると思います。お手伝いしたいのですが、子供の送迎で手一杯です。 ・みなさん、がんばっていると思います。 ・自由に参加するのが好ましいです。強制されるのは、きついです。 ・保護者の方々が、積極的に動いてくださっているのが伝わった。広報誌が見やすく、明るい印象。ありがたいです。 ・自分自身として具体的な連携や協力はできなかったが、大変大切な取り組みであり、丁寧に報告書が配られたので知る事ができ良かった。 ・保護者の負担軽減も必要だし、そのためにはもっと教職員も一緒にイベントを作る気概が必要。 							(今後の方針のとおりです)					
今後の方針							<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由教育、病弱教育のより一層の発展に向け、本校PTAの皆様と学校PTA及び各種別の広域PTA活動への支援を検討してまいります。 					

Q38-1 【教職員】 今年度、「私はこれをやりました。」といえるものは何ですか。

- ・保護者との信頼関係構築(7)
- ・準ずる教育課程の学習指導(6)
- ・授業の充実(6)
- ・児童・生徒指導(5)
- ・光明祭運営(5)
- ・進路指導の充実(5)
- ・自立活動の指導(4)
- ・宿泊学習の計画・立案・実施(3)
- ・特別支援教育コーディネーター業務(3)
- ・障害特性の理解(3)
- ・児童・生徒理解(3)
- ・医療的ケアを必要とする児童・生徒への対応(3)
- ・教職員間の連携(3)
- ・施設設備の充実(3)
- ・タブレット端末の活用(2)
- ・児童・生徒の健康管理(2)
- ・児童・生徒の看護(2)
- ・部活動指導の充実(2)
- ・教材作成(2)
- ・教員間の連携(2)
- ・寄宿舎生の安全管理(2)
- ・各教科等を合わせた指導(2)
- ・安全な給食の提供(2)
- ・挨拶(2)
- ・広報活動(2)
- ・寄宿舎生の健康管理
- ・寄宿舎生への指導・支援
- ・寄宿舎給食の管理
- ・教育実習生への指導
- ・寄宿舎業務の充実
- ・教室環境整備
- ・教科書選定事務
- ・教材作成
- ・教職員への指導体制・内容の提案
- ・補習関連業務
- ・予算調整及び物品調達
- ・訪問学級生の指導
- ・避難訓練の計画・実施
- ・オリ・パラプロジェクト推進
- ・管理職への報告・相談
- ・図書コーナー開設
- ・タブレット端末の活用
- ・卒業学年としての指導
- ・全校環境整備運営
- ・摂食指導
- ・スクールバス折衝
- ・進路指導
- ・新学習指導要領の理解
- ・食育の充実
- ・情報教育の推進
- ・授業研究
- ・視野を広げた業務遂行
- ・児童・生徒の生活指導
- ・児童・生徒の安全管理
- ・施設・設備の充実
- ・自主的な業務遂行
- ・広報活動
- ・校外学習の計画・立案・実施
- ・研修の支援
- ・関係機関との連携
- ・学級経営の充実
- ・学園ポータルサイト管理
- ・介護等体験生への指導
- ・ICT機器の貸し出しの円滑化

※項目の後にある(数字)は、同じ内容について複数回答のあったものの回答数です。上から多い順に挙げました。

Q38-2 【HT】 介護の専門家として、あなたが自信をもっていることや課題と感じていることを記入してください。

【自信をもっていること】

- ・自分が生徒の気持ちになって、自問自答して日々の生徒への介助にあたっている。
- ・生徒のことが、よくわかるようになってきた。
- ・安全な介助のために人手が必要な際に誰とでも協力し合える人間関係を職場で作ることが出来ている。
- ・広い範囲を見て動線を確認したり、ここで〇〇先生がこれをしているので、一緒にやる・あっちでやるなど、常に皆さんの動きを見て、子供たちに関わっています。
- ・安全に過ごせるように環境を整える事、子供と目を合わせて、声かけ、介助をすることを心がけています。
- ・毎日のゴミ缶清掃・床モップがけ・ホワイトボード清掃・トイレの環境整備
- ・ボディメカニクスを意識している。
- ・学習支援では、先生の学習のねらいを頭に入れながら声かけ、補助をしています。
- ・移乗・排せつ等児童・生徒の介助に入る時はなるべく児童自身に負担がかからないように支える位置や力加減を考えながら行っている

【課題と感じていること】

- ・日々目の前にいる生徒の実態を感じ取りながら適切な身体支援を安全に実践していきたい。
- ・生徒本人がもっている力を最大限利用した介助を行いたい。
- ・生徒の甘えを聞いてしまうところ
- ・生徒達には、成功に感動し成長してもらいたい。

回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
<p>・学園の一体感は、S・B部門だけでなく、身近なところにもあります。通学・訪問を隔てない一体感。合理的配慮が不十分のために生じる差等。</p> <p>・今年度4年生・5年生を1つにまとめたため、今まで3年間では起こらなかったことが起こっている。何といても、教員配置は問題だと思います。来年度は是非改善して下さい。</p> <p>・教員・看護師他人的に厳しい中でITをもっと活用する等して業務の効率化を図り、本来の仕事に集中できるようにするのは難しいか。(メール活用によるペーパーレス化、看護師配置にモバイルツールを活用して保健室との往復を減らす等)</p> <p>・呼吸器で付き添いがあるため、保護者会やPTA活動にほぼ参加できない。何か校内ということで特別に別室待機扱いとして今後も参加できないか、と思った。</p> <p>・呼吸器使用時の医療的ケアの立ち上げを制限せず、他の生徒と同様の機会を与えて下さい。</p> <p>・今は学校を休ませて頂いていますが、本人は学校が大好き。本当はもっと登校させたい。しかし冬の感染時期のなるととても怖くて心配でした。加湿器機能付き空気清浄器を設置してほしいです。</p> <p>・小学部4・5年生と一緒に学校生活を送ることや、統合学年に入れられる等、通常と異なる学級編成を行う場合には、格別なご考察があれば有り難いです。</p> <p>・今年度4年生は、教職員の人数が少なく、とても不公平に感じました。担当の先生が5年生と言われたことに驚きました。</p> <p>・4・5年生一緒にグループ活動することは良いですが、学年の先生の割合をそろえてほしい。</p> <p>・*グループは、教員が1名のため介護職員は指示待ち、保護者も待たされるがありました。</p> <p>・特設が減った分は他で補う、その方法まで示していたが全くその様子も見られず、説明もなくびっくりしている。</p> <p>・親からの要求や求めは肯定はしても行っているとは思えない事もある。</p> <p>・今までの教育の仕方に当てはめるのではなく目の前にいる子供たちを見てほしい。</p> <p>・わからなければ親に聞いてほしい。</p> <p>・勉強という知識だけではなく、環境や子供の心に今後目を向けて、親と一緒に育てていただければ、親の心も助けられます。</p> <p>・いろいろな事をもっとオープンにして、教室のカーテンも開けてほしい。</p> <p>・今年は、校長先生との懇談会が開催されず残念でした。保護者の意見はまず担任からとよく言われますが、現場の先生方も学校運営のことを保護者に言われても困るのではないかと思います。</p> <p>・中学部になってから、トイレなど同性介助になるので、担任(先生)だけでなく、介護職員さんに見ていただく機会が多くなったと思います。子どもは男、担任の先生は女性です。担任の先生にはもちろん肝心なところはしっかり見ていただいていると思いますが、どうしても介護職員さんに関わる時間が多いと教育的な指導を受ける機会が減っているのではないかと感じます。</p> <p>・進路週間がありました校内での学習だけではなく、将来に向けて外部の施設の見学や作業の体験などが中学部のときからあっても良いと思います。</p> <p>・委員会がとても頑張っていると思います。本部・学年だけでなく委員会活動への協力をお願いできればうれしいです。</p> <p>・S部門、B部門それぞれの保護者の考え方があってあたりまえなのですが、少人数のB部門の保護者はまだまだよそ者感があります。PTAでもっと交流をしていけたら良いと思っています。</p> <p>・何となくクラスで、同じ症状で同じタイミングで風邪をひいていることが多い気がします。子供たちや先生方の手も清潔に保っているのか気になることです。</p> <p>・保護者会の日は2便にしてほしい。保護者への配布書類をもっと早く配布してほしい。</p> <p>・1人の教員から不適切な言動があり、とても残念でした。今までの和やかなクラスの雰囲気なくなり、とても不安でしたが、校長・副校長先生の誠意あるご対応に勇気をもって相談させていただき、良かったと思っています。</p>	<p>・いただいた御意見を参考にさせていただき、学校での教育活動に活かしていきます。</p> <p>・情報機器の活用について、校内で実施可能である事項を確認いたします。</p> <p>・校内の医療的ケアを必要とする児童・生徒の保護者の方の出席方法について校内で状況を確認いたします。</p> <p>・保健室や看護師、学校医との連携を深め、感染症対策の充実に努めます。</p> <p>・御意見有難うございます。校内の教職員数を鑑みながら、学年等について状況確認いたします。</p> <p>・来年度以降に順次実施される新学習指導要領の内容を踏まえ、校内の教育活動の充実に努めてまいります。</p> <p>・今回の学校評価アンケートでいただいた御意見を参考に、次年度の教育活動の改善・充実に努めます。</p> <p>・学園として、児童・生徒一人一人に応じた指導を心がけるよう、校内での研修等に活かしていきます。</p> <p>・お子様が学習を進める上で、学校と保護者の連携が必要不可欠です。御不安なことがありましたら、教職員へお声をおかけいただけますと、有難いです。また、教職員からも積極的に御相談させていただく場合もございますので、その際はよろしくお願いたします。</p> <p>・児童・生徒一人一人に応じた指導ができるよう、努めてまいります。</p> <p>・児童・生徒の学習環境を整えつつ、保護者の皆様が安心して授業を御覧いただけるように、校内でも適宜対応いたします。</p> <p>・懇談会の時間を設定することができず、大変申し訳ございません。御意見につきましては、担任にいただいたり、PTA役員会を通じてお知らせいただいてもかまいません。また、学校評価アンケートもその一つのツールとして活用していきたいと考えております。</p> <p>・学校介護職員の児童・生徒理解、授業支援力向上に向け、今年度から校内の研修を設定いたしました。来年度も継続し、学校介護職員の資質向上を図ります。</p> <p>・今後もPTAとの連携を図ってまいります。</p> <p>・保健室と連携し、教室内の健康・安全を保てるよう取り組んでまいります。</p> <p>・保護者会の開催を早めにお知らせできるように努力いたします。</p>

・PTA地域部会の区との意見交換等への参加に副校長だけでなく先生方にも参加していただけるとその後の学校活動に生かせるのではないかと。授業開始時間を区立と同じにさせていただきたい。

・給食について。工事によって給食室が狭くなり今までと同じ対応ができなくなったということですが、それなら別の対応や近い対応をしてほしいです。15分間の摂食相談は短いです。外部の先生がアドバイスしてくれても学校側ができないと相談の意味がないです。もはや校長や副校長とお話したいです。

・校長室前の新聞や雑誌は誰向けのものか、非常に疑問。正直不要としか思わない。

・うちは医ケアがあるので、先生方にはもちろんですが、保健室に大変お世話になっています。* *先生にはいつも顔を見れば本人には声かけなどももちろんですが、母の体調までお気遣いいただき感謝です。また看護師さんたちにはすごくかわいがってもらったり、吸引や発作の対応もしっかりとやってくださっていて、これまた感謝でいっぱいです。* *部を主に担当してくれている* *さんには特にすごく今までにないくらいの理解と対応にとてもとても感謝しています。担任の先生との連携もとても安心できるものです。書類もどんどん良いものに改善されていてすごいな、と思います。すごく安心してお願いできて、学校へ送り出せているので本当に感謝でいっぱいです。

・小*グループの自立活動の時間が短すぎる。最低でも40分くらいとってほしい。アルコール除菌剤ではウイルスに効かないので、チャームスト等の導入を検討してほしい。

・乾燥対策では、濡れタオルをかけるなど、湿度50%を目標にしてほしい。

・教職員が校内で行えている医療的ケアを校外でも行える制度があると伺いました。都立* *など実施されている学校があると聞き、非常にうらやましいです。本校でも早急に登録をお願いしたいと切に願います。このままですと宿泊行事に参加する機会が子どもから奪われかねません。

・授業参観の日等、自家用車で来校を禁じるプリントが出ていますが、今はバスがない時間も長いので、から空きの広い駐車場があるのに、と違和感を覚えました。都立で通学区域も広く、世田谷区など縦の交通手段が少ない区も入っています。使えるスペースは有効に活用してもいいのではないのでしょうか。(授業参加は自転車で40分かけて伺いましたが…)

・教職員の医ケア研修に親が立ち会う意義が分かりにくい。希望する親だけ立ち会う形に変えてほしい。前年度と担当者が同じでも教員、HT合わせ計4回も来校するのは負担です。

・教員・寄宿舎指導員の発達障害への理解が進んでいないので早急に教育を行ってほしいです。

・数年前にBが加わるようになった割には、始まってみてS主体…にプラスしただけの内容が多すぎると思う。Bももっとすごしやすくしないとおかしい。

・学校は「クレーマー」や「事故」ばかり気にしすぎていて、「特別支援」でなくなってきた気がする。保護者も「完璧なんてない」という柔軟な考えをもつべき。

・いつもありがとうございます。毎日学校に通い、教職員の方々や接し、担任の先生方の愛に包まれ…、幸せに過ごしています。本当にありがたいことだと思っています。

・教科書の絵本を普通級の教科書と同じにしてほしいと毎年思っています。絵本は見えていない、もうすでに持っているので無駄になってしまっています。

・送迎をしているので、先生と話す機会も多く、意思疎通はとれていると思います。いつも良く見て頂き、感謝しております。

・中学生になって学びたいことが山ほどあって、週3回2時間の授業では足りなくなってきました。スクーリングで集団で学ぶことも増やしていきたいと思っています。訪問の子どもたちは体調が落ち着かないこともあります。皆、先生と友達と学ぶことを楽しみにしています。今後、授業数が増えたいと良いと思います。よろしく願いいたします。

・訪問籍の授業が、週3回、1回2時間しかないのは少なすぎます。体調や体力より、授業が十分受けられない子もいると思いますが、今の訪問籍の子の中には、医療的ケアがあってスクールバスに乗れない、通学しても、保護者の常時付添が必要とされているが付き添えないなどの理由でやむを得ず、訪問籍に在籍している体調の安定している子達があります。なので、希望する訪問生には、週5日の授業が受けられるようにしていただきたいです。

・訪問生はスクーリングで学年の先生と関わることがとてもうれしいです。短い時間ですがたくさん話しかけて頂けたらと思います。

・各字区域からのスクールバスの運行を踏まえ、授業開始時間を設定している関係で、現在の授業開始時間を変更することは難しい状況です。その旨、御理解の程、よろしくお願いいたします。

・摂食相談でいただいた指導内容について、児童・生徒の毎日の状況を総合的に踏まえた上で、適切な実施に努めてまいります。

・18歳からの選挙権年齢の引き下げに伴い、都教委は、今年度から全都立学校へ5大紙の定期購読の導入を行いました。小学部から高等部までの児童・生徒が新聞に親しみ、主権者としての意識を培うことが目的です。実際に記事を調べるなど、学習に活用しています。

・来年度以降に順次実施される新学習指導要領の内容を踏まえ、校内の教育活動の充実に努めてまいります。

・引き続き、乾燥対策に取り組んでいきます。

・本校でも校外学習において、試行で医ケアを行っています。宿泊学習に関しては、全ての宿泊行事ではありませんが、看護師対応をしています。保護者の皆様の全面的な負担軽減にはなりません。少しでも軽減できるよう、また教育的な観点からも今後も継続していきます。

・御迷惑をおかけいたしました。申し訳ございません。昨年度の旧光明では、旧梅ヶ丘病院跡地に駐車が可能であったため、十分な対応ができておりました。今年度から、西棟校舎建築が始まり、校内に十分な台数の確保ができない状況となっております。大変恐縮ですが、近隣のコインパーキング等の御利用をお願いいたします。

・担当部署に確認いたします。

・B部門の教職員の資質向上に向け、研修等の実施を今後検討いたします。

・学園の一体感の醸成に向け、いただいた御意見を参考にさせていただきます。

・既にお持ちの本をお渡しすることになり、大変恐縮です。小・中学部の知的、自立の教育課程で無償給与されている教科書(附則9条本)の種類につきましては、児童・生徒の学習活動により適する本となるよう、現在校内で検討を行っています。

・御意見有難うございます。今後の学校の教育活動展開に向けて、参考にさせていただきます。

・医療的ケアや通学方法に関しては、新たな動きがありました。新しい情報が入り次第、お伝えしていきます。

・先生の人数が、子供たちの人数に対して余裕がないため、授業日の振り替えができなかったり、学校行事(入学式や光明祭など)の時期には、授業日数が減ってしまい、貴重な学習の時間が少なくなってしまう。学校の都合で授業がなくならないような体制を希望します。

・訪問授業をしていただいているので、答えられない項目が多いです。日頃の先生方の指導から様々な事に努力がなされているのではないかと思います。日々のご指導に感謝しています。

・自立活動や音楽療法の授業がひとつの学期中に訪問籍の子達には2回程度しかないのが、増やしていただきたいです。

・スクーリングに行きたくても、先生の予定と合わなければ行くことができません。1回2時間の授業分しかスクーリングできないので、せっかく交通費をかけて学校へ行っても、通学生のように、午前・午後と1日学校で学習することができず、すぐに帰らなければなりません。また、予定が調整できて、午前・午後と1日学校で学習できても、2回分の授業とカウントされて、他の授業日がけずられてしまいます。どんな状況の子達でも等しく学ぶ権利があると思うので、学習の時間をしっかり確保していただきたいです。

・訪問生には、年1回訪問の集いという集まる機会がありますが、もっと家の外に出て刺激を受け、同世代の子達のと一緒に過ごし、社会とのつながりを感じることができるように、訪問生のみんなで校外学習に行くなどの機会を作っていただきたいです。

・訪問で1対1で先生に関わっていただけるので、本人のゆっくりのペースではありますが、成長がみられ、可能性が広がっているのを感じ、とてもうれしく思っています。本人の持っている力を信じ、その力を引き出せるようにと、日々真剣に子どもと向き合っている先生方に感謝しています。

・大変申し訳ございません。アンケート項目については、今年度の結果を踏まえ、より良いものとなるよう、検討いたします。

・紙面の都合上で、お寄せいただいた御意見のうち、同様の趣旨で複数の御意見をいただいたものにつきましては、まとめて掲載させていただいております。